

# お祖師さまを巡る人々

第20回



誕降ご士大蓮日祖高  
800年慶讃

駿河国（静岡県）の庵原郡松野（富士市）に住む「松野六郎左衛門」さんは、お祖師さま（高祖日蓮大士）に、一度もお会いしたことがないんだ。でも、とても熱心な御題目のご信者となって行ったんだね。そして、家族にも、お祖師さまのお弟子や有力なご信者となるものが出たんだよ。今回は、「松野六郎左衛門」さんのお話をするね。

## まつのろくろうぜもん 松野六郎左衛門

【松野六郎左衛門】さんの正式な名前は「松野六郎左衛門行易」というんだ。駿河国の庵原郡松野という所の領主（その土地を治める人）だったんだよ。

【松野六郎左衛門】さんは、松野の領主としてその土地を治めながら、近くの天台宗のお寺・岩本実相寺（平成三十年八月号の『お祖師さまをお訪ねする物語』を読んだね）に参詣し、とても熱心に仏様の教えを学んでいたんだね。

御題目のご信心を始めるようになったのは、娘の八千代が、お祖師さまの有力なご信者であった南条兵衛七郎（上野殿）さんのところにお嫁に行ったことが、大きなキッカケとなったみたいなんだ。

【松野六郎左衛門】さんは、お祖師さまが、身延山（山梨県）にお入りになった二



日持上人（松野六郎左衛門の次男）六老僧の一人。正応元年（1288）お祖師さまの7回忌法要に祖師像を池上本門寺に願主となつて奉安。永仁3年（1295）布教のため樺太を経て大陸に渡つたといわれている。



松野六郎左衛門さんは、お祖師さまの教えの通りに御題目をお唱えし、身延山におられるお祖師さまに、様々なご供養を届けられた

年目の建治二年（一二七六）二月ごろに、御題目のご信者になったといわれているんだよ。

そのご信心ぶりは、何と一度も、お祖師さまにお会いしたことはなかったんだけどお祖師さまにお手紙を出され、ご信心についていろいろと質問をされたんだ。

そんな【松野六郎左衛門】さんに、お祖師さまは「御題目をお唱えすること。ご供養をすること」の大切なことを分かりやすく、お手紙に書いて教えられるんだね。

【松野六郎左衛門】さんは、とても純粋（他の事は考えないでその事だけを思うこと）な気持ちでご信心に励まれ、まじめに御題目をお唱されたんだ。

また、身延山でご奉公をされているお祖師さまに、沢山のお供養（お金、着物、お



法蓮寺（松野六郎左衛門の屋敷跡）日持上人の生誕地として、天文10年（1541）身延山の松野房日清が、荒廃していた跡地に蓮華堂を建立。天文14年（1545）、円応山法蓮寺と寺号公称した

米、灯明（ロソク）用の油、筆などを届けられているんだよ。

【松野六郎左衛門】さんは、のちに入道（僧侶になる）され、弘安元年（一二七八）十一月十五日に亡くなったといわれているんだ。

## 松野六郎左衛門さんの一族

【松野六郎左衛門】さんには沢山の子どもがいたんだ。その中でも、永精寺というお寺を建てた長男の「行成（松野六郎左衛門行成）」と、ご信者の南条家にお嫁に行った娘の「八千代（上野尼御前）」、そして次男の「日持上人（六老僧の一人）」は、とてもよく知られているね。

また、孫の「南条時光（娘・八千代の子ども）」も、お祖師さまの四大檀越（四人の重要なご信者「富木常忍・四条金吾・池上兄弟」）の一人と言われるぐらいご奉公に頑張ったんだよ。【松野六郎左衛門】さん一家は、本当にご信心に熱心な一家だったんだね。

一度もお祖師さまにお会いしたことがないのに、【松野六郎左衛門】さんは、つねに教えを求め、純粋な気持ちでまじめにご信心に励まれた、とても立派なご信者さんだね。



蓮永寺  
松野六郎左衛門の長男・行成は、父の信心を継ぎ松野の領地に永精寺を建立。弟である日持上人が第一世住職に。元和元年（1615）、現在の地（静岡市葵区）に移転し蓮永寺と改称した